



末吉小だより

横浜市立末吉小学校

学校だより

令和3年 10月号

「分散登校」を経験して

副校長 菅野 範子

9月はちょっと太陽の元気がなく、涼しい毎日が続きあつという間に秋の気配を感じるようになりました。8月末の臨時休業、その後の分散登校と、例年とは違う夏休み明けの学校生活を過ごした1ヶ月でした。お子さんや保護者の皆様には急な変更が続いてご心配やご不便をおかけしたことと思いますが、変更に伴う様々な対応にご理解とご協力をいただきありがとうございました。また、GIGAスクール構想に伴う一人1台端末（iPad）の利用については、急ピッチで準備をし、教職員も研修を重ねて活用の仕方を模索してきました。「ロイロノート・スクール」を活用しての課題の受け渡しや健康観察の確認、「Google classroom」を活用してのオンライン朝の会など、離れていてもつながりあえる、新しいコミュニケーションツールが大活躍の分散登校期間だったのではないのでしょうか。一方で、ご家庭に持ち帰った際にはお子さんと一緒に操作をしたり、お子さんの使い方を注意深く見ていただいたりと、お手をお借りすることもあったかと思えます。もう少し使い方に慣れて、自分の学習用具の一つとしてルールを守って安全に使うことが出来れば、端末活用の教育的効果はまだまだ広がりそうです。今後も端末を使った有意義な活動を工夫していきますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

さて、昨年よりも長くなってしまった分散登校について、いろいろな学年の数名の子どもたちに今の想いを聞いてみました。

「密にならないので安心」「人数が少ないので手が挙げやすい」「1日おきなので、家庭学習日は家で勉強したりゆっくり過ごせたりするのが良い」「集団登校じゃないので学校に来る時が不安」「人数が少ない分、そうじなどの当番が大変」「宿題が多く出る」「勉強の遅れが気になる」などなど。

そして、最も多く聞かれた言葉が、「クラスのみならずと会えない」「友だちと会えない」などの、クラスの友だち、親しい友だちと会うことのできないさびしさを訴える声です。顔を見て、言葉を交わして、同じ体験をして、同じ空間で過ごして…。友だちとの直接的なコミュニケーション、つながりを通して子どもたちは心豊かに育っていくのだと改めて感じました。

このような想いを話してくれた子もいました。

「分散でもいいから、学校に行けることがうれしい！」

今のこの状況を受け入れ、目の前のことに精一杯がんばる子どもたちは素晴らしいです。私たち大人も、子どもたちを精一杯支え励まし、力づけていきましょう！！

さらに笑顔あふれる、にぎやかな末吉小学校がまもなく戻ってきます！